

令和6年度 全国健康保険協会岩手支部第1回評議会 議事概要

- 【開催日時】 令和6年7月19日（金）10：00～11：00
【開催場所】 エスポワールいわて 1階小会議室
【出席者】 浅沼評議員 鎌津田評議員 熊谷（英）評議員 佐藤評議員
菅原評議員 田口評議員 宮寺評議員 宗形評議員
（五十音順、敬称略）

【議事】

- ・議題1 令和5年度決算（見込み）及び支部収支について
- ・議題2 令和5年度岩手支部事業計画の実施状況について

【議事の経過】

支部長挨拶後、各議題について協会より説明を行い、その後に出席者からの質疑等の発言を求めました。発言の内容は以下のとおりとなります。

（1）令和5年度決算（見込み）及び支部収支について

【被保険者代表】

保険給付費の推計について令和15年度までの推計が掲載されており、右肩上がりに増え続ける見通しとなっているが、今後どこかの時点で減少に転じる見通しはあるのか。または、推測できるのか。

<事務局>

医療の高度化（高額薬剤の保険適用）や、高齢化による医療費増加等により、今後も保険給付費の増加が見込まれており、減少に転じる見通しについては、難しいところはあるが、団塊ジュニア世代等の影響を考えると少なくとも2040年までは、同じように保険給付費は増加していくと思われる。

【事業主代表】

2点質問がある。1点目は、準備金残高については、5.95か月分と記載されているが、これは適正なのか。2点目は、岩手県内でも働く外国人労働者について一定数増えてきていると聞かすが、協会の保険料収入のうち、外国人労働者の占める割合について、わかれば教えていただきたい。

<事務局>

準備金残高について、制度上では保険給付費の1か月分相当を積み立てると定められている。しかし現状では1か月分を超えて積みあがっており、どこまでが適正かといった部分になるとなかなか難しいところである。

保険料収入のうち、外国人労働者の占める割合については、データを取っていないため、回答は難しい。

【被保険者代表】

協会けんぽの医療費の動向（2023年度）について、都道府県別に加入者1人当たり医療費の対前年同期比が掲載されている。岩手支部については、年齢階級40歳～49歳の世代がマイナスに寄与しており、他の県と傾向が異なっている。受診を控えているのか、あるいは健康であるのかなど、要因が分かれば教えていただきたい。

<事務局>

要因分析を行い、後日回答させていただく。

(2) 令和5年度岩手支部事業計画の実施状況について

【被保険者代表】

令和5年度支部業績評価のうち、共通部門については、全国47位と最下位になっている。今後どのような対策、改善方法を考えているのか。

<事務局>

監査部門において、事務処理の不備等でマイナスとなっている。自主点検等の検証の精度を高め、チェックの徹底を行っていくことで対応していく。

【被保険者代表】

レセプトの内容点検について、支払基金の査定率は全国36位、岩手支部査定率は全国1位となっている。支払基金と支部での点検はどのようなすみわけなのか。

<事務局>

医療機関のレセプト提出については、一度支払基金に提出され一次審査が行われる。その後、協会けんぽでの二次審査を実施する。再審査が必要なものを支払基金に再審査依頼をするという流れで審査を行っている。

令和6年度からは、協会けんぽ単独の査定率がKPIになっている。

【学識経験者】

医療機関のレセプト提出については、一度支払基金に提出されるという話であったが、そもそも医療機関側の請求額等に誤りがあるということだと思うが、誤りの内容としては、単純なミスなのか、不正受給のような意図的なミスなのか。

<事務局>

支払基金に再審査依頼するものは、患者のこれまでの治療の経過から算定要件に疑義があるケースが多い。

【学識経験者】

事業者健診結果データ取得事業については、KPI 未達成という結果となっている。改善策として、委託事業者との連携強化をしていくとの説明があったが、具体的にはどのようにするのか。

<事務局>

委託事業者との定期的なヒアリングにより、事業スケジュールの確認や課題に対する対策の検討等、委託業者に任せたままにせず、積極的に介入していく。

【事業主代表】

被扶養者の特定健診を、被保険者と一緒に受診すれば、受診率は上がるのではないかと。社員と家族と一緒に勤め先で受けることはできないのか？

<事務局>

健診機関によっては、そのような実施方法でやれる健診機関もあるかもしれない。加入者の利便性向上のため、健診機関との交渉を図ってまいりたい。

【事業主代表】

事業者健診結果データについては取得後どのように活用するのか。また、昨今、様々な企業でハッカー等の被害が相次いでいる。協会では、情報セキュリティ対策はどのようにしているのか。

<事務局>

事業者健診結果データについては、保健指導対象者の選定や、各種事業につなげるための調査分析に活用している。

情報セキュリティ対策等については、通常協会で使用する端末と、外部インターネット環境を分離させた体制を講じている。また、事前にウイルス検知を行い、不審メール

を防ぎ、ブロックするシステムについても構築されている。

その他、事業を委託する場合には、プライバシーマークが取得されているか、セキュリティ対策が講じられているかなどの確認を行ったうえで、契約を交わしている。

【学識経験者】

保険証の回収率が低いという件について、マイナ保険証への切り替えが進むことで、回収率は上がるのか。

<事務局>

現状の制度だと、直接的な関連性はない。今後、マイナ保険証へ完全に移行となっていったときには、そもそも KPI の評価指標から保険証の回収が外れると思われる。